

受賞者インタビュー

最優秀賞・(財)理想教育財団賞

●豊橋市立芦原小学校 鈴木玉代先生

「通信は学校と家庭の架け橋」

—まず、受賞のお気持ちを聞かせてください。
 全くの想定外で、とにかく驚きました。コンクールには毎年応募し、一昨年は佳作、昨年は審査員特別賞をいただきましたが、最優秀賞は雲の上の存在だと思っていました。今回の受賞は、私の功績というよりも、ご家庭も含めた芦原小学校の健康教育の取り組みを評価していただいたのだと思います。

—週に1回から2回の発行と、発行の頻度が高いですね。
 新任の頃から保健だよりを発行してきましたが、現在のような週に1、2回発行のスタイルにしたのは、平成15年からです。この年、初めて私は中学校から小学校に赴任したわけですが、赴任先の小学校は「健康教育」の研究指定校でした。ご家庭へ健康づくりに関するきめ細かい情報提供が必要になり自ずから号数が増えていきました。学校の取り組み、学校行事、子どもたちの様子などを交えながら記事を構成しますから、テーマ探しに苦労はありませんでした。かえって楽しんで制作できました。

—制作に当たって気を付けていることはありますか。
 保護者だけでなく児童も読みますから、言

葉を噛み砕いて説明したり、ルビを付けたたり、カットを増やすなど、分かりやすさを追求しました。また、家庭・地域の方にも興味を持って読んでいただくために、ご家庭からのアンケート結果、ご家庭で取り組んでいただいた生活習慣のチェックシートの結果、子どもや保護者のコメントなどもできるだけ掲載します。

—反響はいかがですか。

「ウンクーネルダスを読んで、健康について理解が深まった」「普段の生活習慣などに気を付けるようになった」など、うれしい声をいただきます。また、学級担任も積極的に活用してくれるので、大変感謝しています。

—通信の意義についてどのように思われますか？

通信は、学校と家庭をつなぐ架け橋だと思います。とりわけ、私が担当してる健康づくりの分野は、ご家庭の協力が何よりも必要です。通信を活用することで、健康教育が家庭や地域に広く展開できると実感しています。
 ※「ウンクーネルダス」は芦原小学校のホームページに掲載されています。
<http://www.ashihara-e.toyohashi.ed.jp/>



■制作データ■

- ・サイズ A4
- ・毎号のページ数 2ページ(裏表)
- ・モノクロ(教室掲示・ホームページ掲載用はカラー)
- ・発行号数 平成18年度年間56号
- ・発行間隔 週1~2回
- ・配布対象 全校児童430人、職員25人、教室掲示15部、学校医等12部

●通信名「ウンクーネルダス」は、元気な生活の基本である、運動(ウン)、しっかり食べる(クー)、しっかり睡眠(ネル)、毎日うんち(ダス)を合成したものです。